

特定調達品目候補群一覧表(工法)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
泥水循環型地中連続壁工法	GSS工法（ジェコソイルシステム工法）	ソイルセメント柱列式連続壁工法とは、セメント系懸濁液を削孔混練装置の先端から吐出し、原位置土と混合攪拌してソイルセメントを造成して連続した止水壁を構築する工法である。 GSS工法は、ソイルセメント柱列式連続壁工法の施工に伴って発生する泥土をリサイクルプラントにて分級処理して液状分を抽出し、セメント系懸濁液材料の一部として再利用することにより、使用材料と処分土量が低減できる技術である。	ソイルセメント柱列式連続壁工法	ES(C)	○本品目については、統合品目「泥水循環型地中連続壁工法」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・発生泥土の削減が期待されるが、削減量の見込みが不明確であるため ③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
建設汚泥を発生しない地盤改良工法	AMP工法	提案品目は、軟弱地盤にセメントミルク等の固化材を注入して、機械的に混合攪拌し、地盤を強化する工法に係わるものである。現在、一般的に使用される地盤改良工法では、掘削時に水を噴射し、セメント混じりの排泥（建設汚泥）となる。しかし、提案品目では、地盤を掘削するときに水を用いない上、施工機械のビットの形状に工夫をこらしたので、固化材を注入、攪拌混合するときにも一切の排泥がでないことにより、最終処分場に排泥を運ぶ必要がないだけでなく、地盤改良に要する費用も低減できるものである。	地盤中に固化材を注入し混合する高圧噴射攪拌工法	EC	○本品目については、統合品目「建設汚泥を発生しない地盤改良工法」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・建設汚泥の発生抑制が期待されるが、削減量の見込みが不明確であるため ②比較対象品と比べてコストが高いと考えられる。